



わかたけ通信



～熱海市立第二小学校 通級指導教室だより～
令和6年1月5日 文責 女川

あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いたします

2024年が始まりました。子どもたちは、どんな1年にしようかとわくわくしていることと思います。わかたけ教室は、その子と共に、ゆっくり、少しずつ歩みを進めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



3学期は次の学年に向けての大切な準備期間です。この1年の成長を振り返りながら、次の学年へ大きな希望をもって進級・進学できるように、わかたけ教室でも課題に取り組んでいきます。ご家庭では、励ましの声かけと、風邪等ひかないように健康管理をよろしくお願いいたします。

☆3学期の指導は、1月10日（水）から始まります。

☆1月の休みの予定☆

22日（月）14時50分から

※予定の変更は、個別に連絡させていただきます。

《ABA（応用行動分析）で行動を変える③ ちがう行動を引き出す》

本当の理由を見極める

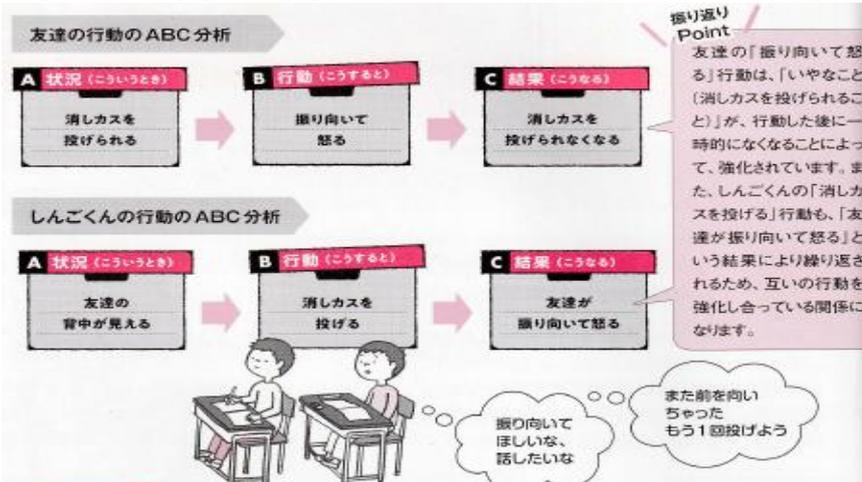
（前略）「行動問題」の真の問題は、「対応しているのに改善しないこと」。対策がうまくいかず、困っているのではないのでしょうか。

最も多いのは、やめさせようとしているのに、困った行動が続くケースです。この場合、周囲の対応やそのときの状況が、行動を続けさせている（強化している）可能性があります。また、知らず知らずのうちに、適切な行動をとらせないようにしている（弱化している）場合もあります。

本人の行動だけでなく、周囲の状況や対応も3つの箱で見直し、状況や対応が、本人の行動にどのように影響を与えているか、状況や対応が、本人の行動にどのように影響を与えているか、困った行動の本当の理由や原因がどこにあるのか見直しましょう。

（小学2年生のしんごくんの例で考えます 怒っているのに、うまくいかない）

しんごくんは、授業中に、前の席の友達に向かって消しカスのカスを投げつけます。



Aを変える…しんごくんをいちばん前の席にする。しんごくんは友達が反応してくれることがうれしいので、前に友達がいないればつまらなくなる。Bを教える…よりよい行動を教える。「友達と話したいなら、休み時間にしようね」というように、いつ、どんなときなら友達と話していいかを伝える。

出版：ナツメ社 小笠原恵 加藤慎吾：著
「発達の気になる子の「困った」を「できる」に変える ABAトレーニング」より

周囲の状況や対応も考えて、本人の行動が自然に変わることを目指せるといいですね。

